

ひつまぶしの会

代表 柳下 進 様

日頃、市の清掃行政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

ご質問のありました、3月9日に開催された建設環境委員会での発言につきまして、回答いたします。

1 小島副市長の発言（尾崎利一議員の質問に対する回答）

平成27年4月26日の選挙では、対立候補は、施設の建設白紙化を主張しており、そのことが、選挙の争点の一つとなりました。

結果、建設容認の立場をとった私が、再選を得たものであります。

2 松本環境部長の発言（中野議員の質問に対する回答）

中野議員からは、「・・・(中路)・・・武蔵村山市の比留間運送さんが東大和以外でも、東村山からもね、そういったものを受け入れてると。この事実は、ご存知だったんでしょか。」との質問であります。

したがいまして、客観的事実を伝えるために、東村山市において、市民をはじめ、広く事業の概要を周知する目的から発行している「秋水園事業概要」に基づき発言したものであります。

また、当市が水銀含有物とスプレー缶を委託していることが、自区内処理の主張と異なるといったご意見につきましては、小平・村山・大和衛生組合で、適正処理困難物となっている「水銀やスプレー缶」につきましては、取り扱う上で、有害性があることや、爆発性、引火性があることから、最終処分と併せた処理を行うことが一般的であり、小平・村山・大和衛生組合において適正処理が出来ない合理的な理由があることから、容器包装プラスチックの民間委託（中間処理）とは異なります。

最後に、平成30年度の予算編成方針であります「開かれた市政の実現のため、施策の形成や課題の対応に当たっては、情報公開の推進と説明責任の徹底を図り、市民の理解と信頼を得ること。」と、乖離があるとのことご意見であります。市では、市民の信頼を築く上で、事務処理の見直しをはじめ、その透明化に努めております。

平成30年4月19日

東大和市長 尾崎 保夫